

【大型構造物】

6. 予防保全型管理の深化

- (1) 再劣化の抑制 (今回)
- (2) 新技術・新材料の活用 (次回)
- (3) 対策優先度の設定 (次回)

6. 予防保全型管理の深化（1）再劣化の抑制

再劣化の原因（大型構造物）

再劣化の分析結果

Ⅲ→修繕→Ⅱ



修繕



修繕



原因

- ・漏水、滞水による影響

対策

- ✓ 止水対策の徹底
- ✓ 再劣化防止の知見の周知

6. 予防保全型管理の深化（1）再劣化の抑制

再劣化の抑制（大型構造物）

- 再劣化抑制のために止水対策を徹底する。

手法1

止水対策の徹底

- ・ 再劣化の原因である、漏水、滞水を抑制する。
- ・ 具体的な対策を周知・徹底することで、予防保全型管理の深化を図る。

予防保全型管理の深化に最も重要な施策

～事後保全に投資してきた予算を
予防保全の予算に充当することで、長期のLCC最小化を実現する～

接続部・立上げ部



立上げ部



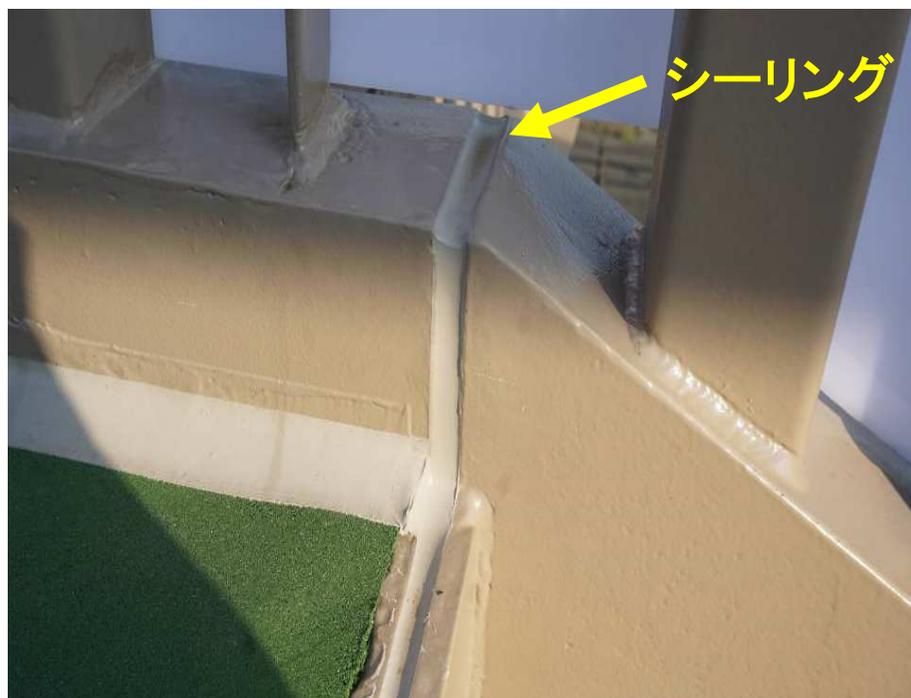
6. 予防保全型管理の深化（1）再劣化の抑制

止水対策の具体的手法（大型構造物）

シーリングの徹底：横断歩道橋

対象

- ・ 上部工と階段の接続部
- ・ 階段部平場の接続部



再劣化の抑制（大型構造物）

- 再劣化防止の知見の周知を行う。

手法2

再劣化防止の知見の周知（蓄積）

【具体策】

- ✓ 施工時の留意点の整理・周知（工事発注図書への追記 等）
- ✓ 土木技術職員研修による周知
- ✓ ばらつきの防止の徹底（設計コンサル・土木事務所・県庁事業課で三者協議）
- ✓ 再劣化情報の蓄積（プラットフォームの構築）

